

おおた教育ビジョンの理念である「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力をはぐくむため、地域とともに歩む学校として、本校の歴史・伝統と地域のもつよさや特性を生かした教育活動を実践する。また、現代は変化が激しく予測困難な時代であるため、自力解決のみならず他者との対話的、協働的な学びを推進することで課題解決能力をはぐくむ。さらに今年度は「まずはやってみよう」をキャッチフレーズとして、目標に向かってチャレンジし続けることを求めていく。

学校経営の基本方針

1 変化の激しい時代を生き抜く力をはぐくむ学校

- 「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた学習を行う。特に「対話的、協働的な学び」を重視する。
- 課題に対し試行錯誤を重ね最適解を導き出すことで課題解決力及び新たな課題を設定する力をはぐくむとともに振り返りを重視する。
- 互いに認め合うことで自分の成果を客観的にとらえることを通して、それらを実感するとともに自分に自信をもつ子をはぐくむ。
- 特別の教科道徳、特別活動等を通して、かけがえのない自己の大切さを実感させるとともに、望ましい人間関係を形成する力をはぐくむ。
- マラソン月間、短なわ月間を「マイ・スクール・スポーツ」に位置付け、さらなる体力向上に向けた取組を実践する。
- 教育相談体制を構築し、スクールカウンセラー、サポートルーム、関係機関と連携することで児童の悩みを早期発見し、解決を図る。

2 相手意識をもち、迅速な対応が見える学校

- ホームページ「馬込の日々」を活用し教育活動の様子をほぼ毎日発信することを通して、リアルタイムな情報を提供する。また、校外学習や移動教室については校長が担う。
- 日々の安全点検や、安全指導を充実させ、事故の予防など危機管理を徹底するとともに、万一の際には、こどもの生命の安全を第一に、迅速かつ適切な対応に徹する。
- 保護者の相談には相手意識をもち受け止め全体像をつかむとともに対応が見える化する。
- 開校150周年に向けて保護者同士の交流、連携を推進することで多面的多角的にこどもをはぐくむ体制を整える。

【教育目標】人間尊重の精神に基づき、自ら学び考え行動し思いやりと規範意識をもって地域や国際社会に貢献できる心身ともに健康で個性と創造力豊かな児童の育成を目指して、以下の目標を設定する。

- 健康なこども・・・心身ともに健やかな子、勇気をもってチャレンジする子
- 心の豊かなこども・・・自分も相手も大切に子、相手のことを考え行動する子
- 考えるこども・・・自ら問いを設定し、対話的、協働的に学ぶ子

目指す児童像 「まずはやってみよう」

3 地域とともにこどもをはぐくむ学校

- 生活科、総合的な学習の時間及び「おおたの未来づくり科」を通して、地域行政や関係団体、ものづくり産業との連携を推進することにより、地域への理解をより一層深め、地域を愛するこどもをはぐくむ。なお、これらの学習には探究的な学びを取り入れる。
- 学校運営協議会を母体に説明責任を果たすとともに、開校150周年を意識し保護者地域の願いを反映させた学校経営を行う。また、「スクールサポート馬込」と連携し地域とともにある学校づくりを推進する。

4 組織力を強みとする学校

- 学年を基本単位とした対応を行う。また、2年生以上は副担任を配置することで組織を強化する。事案発生の際には必要に応じて、主幹、管理職を加えて組織的に対応する。そのために学年会、生活指導夕会など日頃から学年間及び校内における情報の共有を徹底する。
- 電話対応をはじめ保護者、地域、外部への対応では、接遇マナーを徹底する。
- 管理職は、教職員の悩みや苦労を共有し、適切な指導・支援を行うことで、安心して働ける学校風土を醸成する。